

お手入れについて

市販のワイヤーロープ用グリースを、月1回を目安にワイヤー全体に満遍なく塗布してください。
このとき、ワイヤー以外の部分にグリースが付着しない様に注意してください。

ワイヤーの交換

ワイヤーは消耗品です。ワイヤーにヨレやホツレが確認できた場合ただちに使用を中止し、販売店または営業担当者に連絡して頂き、ワイヤーを交換してください。

故障と思う前に

(1) 故障の内容と対策

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次のことを確認してください。

(2) 故障の場合

修理が必要な場合は、販売店までご連絡ください。

故障の内容	原因	処置
ボタンが 作動しない	端子結線がきちんと接続されていない。	端子結線を再確認してください。
	リミットスイッチ内部の マイクロスイッチが押されている。	リミッターカムを回してマイクロスイッチを解除してください。
	電源が接続されていない。 (ブレーカーがOFFになっている)	電源線が確実に接続されているか確認してください。 接続されている場合、ブレーカーがONになっているか確認してください。

廃棄

この製品を廃棄するときは専門業者にご依頼ください。また、廃棄業者にこの「取扱説明書」もご提示ください。

■主要部品の材質

・ベース金具 ・連結パイプ	鉄
・バトン棒 ・ワイヤー	ステンレス

取扱説明書について

この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店までご連絡いただき、内容を確認の上、ご請求ください。
この製品を譲渡される場合は、必ず次の所有者にこの説明書を添付して譲渡してください。

取扱説明書


電動大型バトン





この度はお買い上げいただきありがとうございます。






安全に使用していただく図記号の説明

ご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。

 記号は禁止事項を表しています。

 記号は行為を指示することを表しています。

 警告		1. バトンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。 2. 取り付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。 3. 取り付ける場所には少なくとも200kgの重量を支えられる下地が必要です。 強度が心配な場合は必要に応じて補強してください。 4. すべての取り付けが完了後、電源線を接続してください。 電源線を接続した状態で作業しないでください。感電の危険があります。
		1. 部品、製品を分解しないでください。落下・感電の危険があります。 2. バトン棒にぶらさがったり、表示されている最大重量を超える物をバトン棒に掛けないでください。 また、無理な力を加えないでください。本体、バトン棒が落下する危険があります。
 注意		1. バトン棒を昇降させる際には、周囲を確認してから操作してください。 バトン棒が人や物に接触する可能性があり危険です。 2. 使用時以外は必ずワイヤーを全て巻き取ってください。 ワイヤーに触れるとケガをする恐れがあります。

バトンの取り付けを行う方へ

(1) 付属品の種類・数量の確認

付属品の一覧				
壁埋め込み型スイッチ...×1	モーターケーブル...×1 (1.25×4C)	モーター側ベース金具...×1	制御側ベース金具...×1	ワイヤークリップ...×2 (イモネジ付)
ナイロンチェーン...×1	チェーン...×1	六角穴付ビス...×4 (M6×35mm)	スプリングワッシャー...×4 (M6)	連結パイプ...×1
六角ナット...×4 (M6)	チェーンカップリングケース...×1	バトン棒...×1		

※結線用0.75×4Cおよび、2.0×2Cのケーブルは同梱しておりませんので、あらかじめご用意ください。

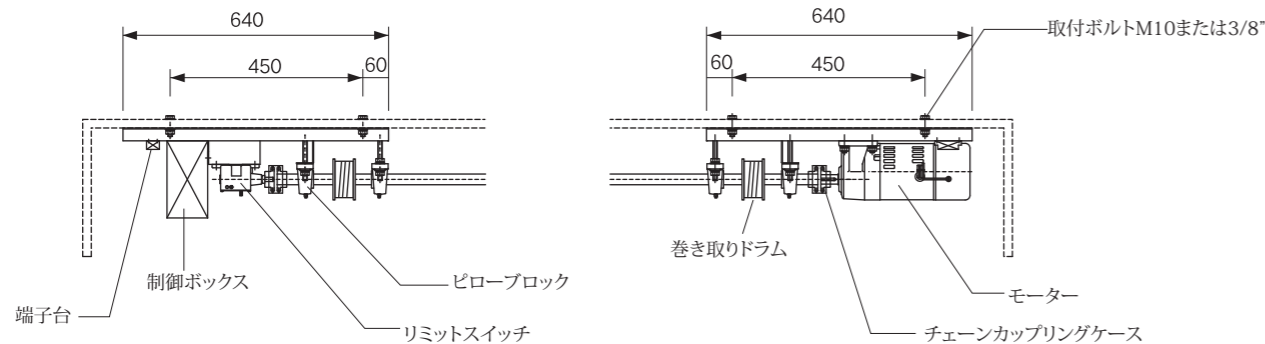
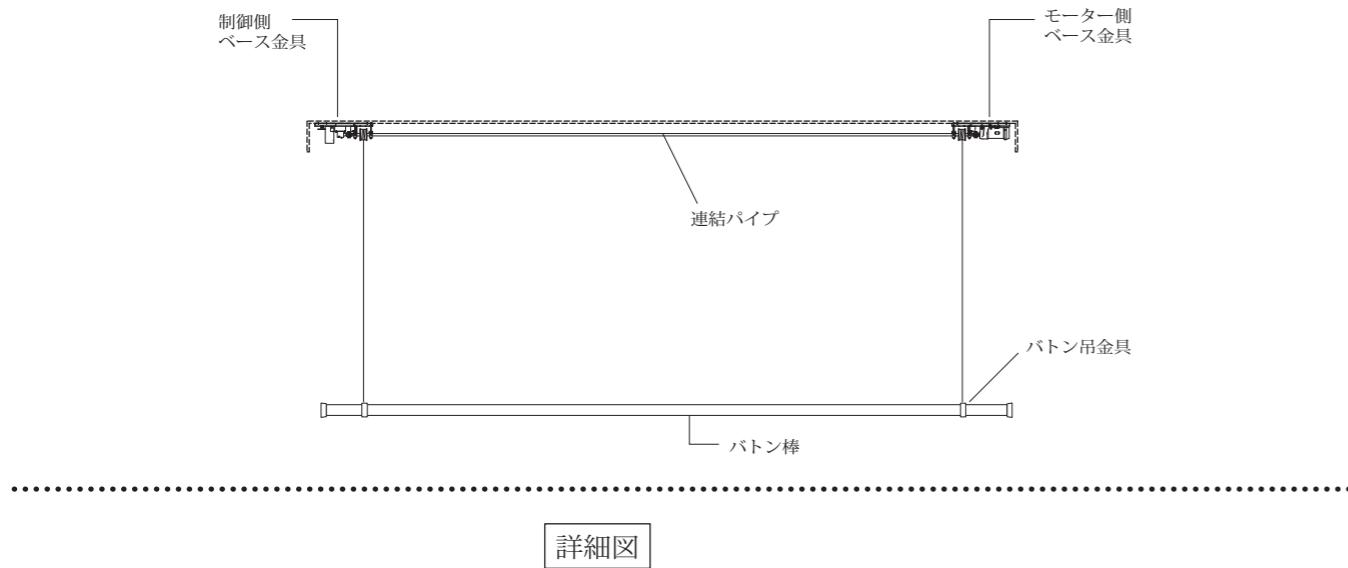
※取付用のボルトと固定用のナット類は同梱しておりませんので、

- 3/8インチまたはM10のボルト×8~12本
- 3/8インチまたはM10ナット×16~24個
- 平ワッシャー×8~12枚
- スプリングワッシャー×8~12枚

をあらかじめご用意ください。

(落下防止のため、ナットは2個を使いダブルナットでの締め付けをおすすめします。)

(2) 製品各部の名称

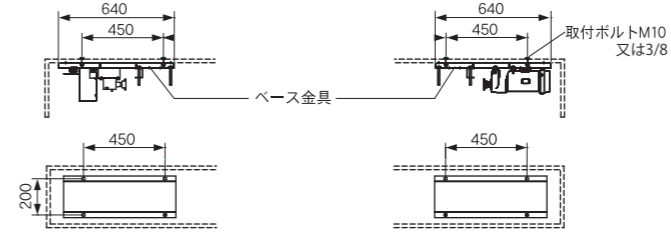


本体の取り付け方法

- | | |
|----|---|
| 警告 | 1. バトンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。 |
| | 2. バトンを設置する天井が、石膏ボードやパーティクルボードなどの場合は、少なくとも200kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。 |
| 注意 | 天井取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。
・ボードアンカーのみによる施工 ・ALCアンカーによる吊り下げ ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工 |

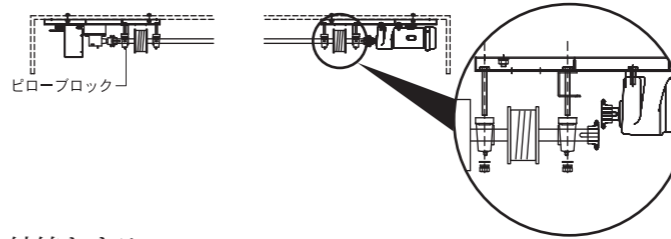
(1) ベース金具を設置面に取り付ける

モーター側ベース金具と制御側ベース金具からピローブロックを取り外しておきます。その後、取付穴ピッチに注意し、ボルト(M10もしくは3/8w相当)を使用し、取り付けを行ってください。



(3) ピローブロックをベース金具に取り付ける

連結パイプを取り付けたピローブロックを元の付いていた場所に戻し、固定します。

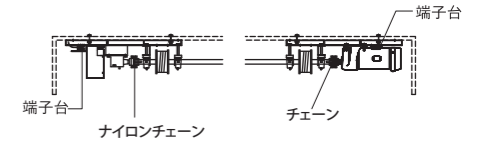


(2) 連結パイプを取り付ける

(1)の作業で取り外したピローブロックに組み込まれているパイプに、連結パイプを六角穴付ビス(M6×35mm)、スプリングワッシャー(M6)、六角ナット(M6)を使って固定します。
(このとき、必ず同じマークが合う向きで固定してください。向きが違くと固定できません。)

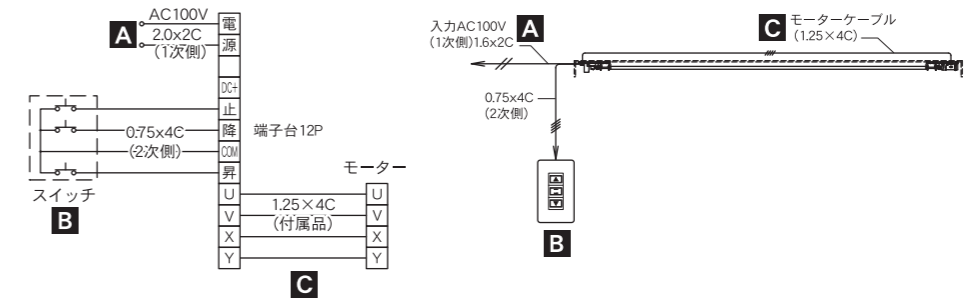
(4) ギア部分を連結する

付属のチェーン、ナイロンチェーンを使ってギア部分を連結させます。(モーター側がチェーン、制御側がナイロンチェーンを使用します。)
連結後、モーター側のギア部分にチェーンカップリングケースを取り付けます。

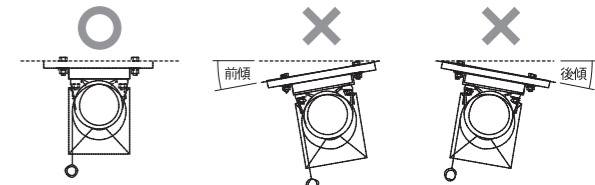


(5) 結線をする

下図を参考に全ての結線をしてください。
(このとき、必ず電源を切って作業してください。)



- | | |
|----|---|
| 警告 | 指定ボルト以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による落下の恐れがあります。 |
| 注意 | 天井への設置取り付けのみとなります。必ず水平に取り付け、傾斜した天井への取り付けはおやめください。 |



バトン棒を取り付ける

スイッチの「▼」ボタンを押しワイヤーを出します。(必ずワイヤーにテンションをかけながら出してください。)
バトン棒を取り付けるのに必要な長さが出たら「STOP」ボタンを押し、停止させます。
(リミッターが作動して必要分でないときは、別紙にある「バトン棒停止位置の設定」を参照の上、必要な長さのワイヤーを出してください。)
必要分出したワイヤーにワイヤークリップを通し、バトン吊金具にワイヤーを結びワイヤークリップでしっかりと固定します。
(このとき、必ずバトン棒が水平になることを確認してください。)




●参考手順

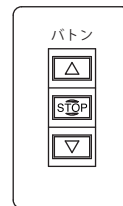
- 1 バトン吊り金具にワイヤーを1巻きする。
- 2 1巻き目の手前側に先端側で2巻き目を作り、ワイヤー先端を手前から奥側へ抜く。
- 3 たるみがない様に両側から引っ張り(先端の長さを調整しつつ)ワイヤークリップでしっかりと止める。

- | | |
|----|---|
| 警告 | バトン棒を取り付けるとき、ワイヤーが巻き取りドラムの溝から外れていないか、テンションが極端に緩んでいないか確認してください。ワイヤーにキズが入り、破損・落下の原因になります。 |
|----|---|

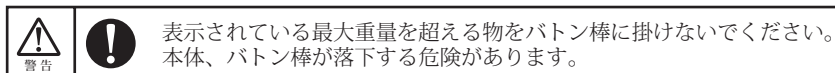
バトンの操作方法

スイッチはパルス式ノンロックスイッチを使用しています。
スイッチを一度押せばバトンの内蔵リレーが作動して設定した停止位置まで自動的に動き、停止します。

	UP	ボタン棒を収納するとき ボタン棒が自動的に上昇して収納され停止します。
	DOWN	ボタン棒を使用するとき ボタン棒が自動的に下降して設定された停止位置で停止します。
	STOP	非常停止の必要があるとき ボタン棒を直ちに停止するとき。また、作動中のボタン棒を任意の位置で停止させるとき。



※動作停止後、安全のために次の動作を約2秒間受けつけない仕様になっております。



ボタン棒停止位置の設定 (リミッター調整)

準備

- (1) 前項の「結線方法」に従って、確実に結線してください。
- (2) リミットスイッチ内部のマイクロスイッチが押されていない状態なのを確認し、電源をONにします。
- (3) 操作スイッチの昇、止、降を押し作動を確認します。
- (4) 作動に問題がなければリミット調整を行ってください。

リミットスイッチ設定方法

- (1) 調整ネジを反時計方向に回し、マイクロスイッチを引いておきます。
(ケース内側のネジ山が残り1山になるくらいを目安にしてください。)
- (2) 設定したい任意の位置でボタン棒を停止させます。カムツマミを引き上げて、リミッターカムに打ち抜かれたボスを、ローラーの最も近い所にあるホイールギアの溝にセットします。
このとき、リミッターカムの回転方向に注意してください。
- (3) 調整ネジを時計方向に回し、設定位置の微調整を行ってください。
- (4) 調整・設定が終わったら、ロックビスを締めてしっかりと固定してください。

リミットスイッチ内部

